様式第１９号

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|   |  |  |
|   |  |
|  工　　　　　　　期 |  　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで |
|   |  　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日まで・無期限 |
| 消費の方法 |    （１か月最大） |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|   |  １孔当り装薬量　（最大）　　　㎏　　 電　気 １回の発破孔数　（最大） 個 点火の方法 １日の発破回数　（最大）　　　回 導火線 １日の消費数量　（最大） 　㎏　 込物 １か月の発破日数（最大） 回 発破予定時刻 |
| 危害予防 |   |  別図の位置に立入禁止，　発破時刻，　注意事項を表示する。 |
|   |  警戒員　　　　名を別図の位置に配置する。 |
|   |  サイレン　　　振鈴　　　　呼笛によって警報する。 |
|   |  構造　　　　　　　　　　　位置は別図のとおり |
|   |  通行車両　　定期バス　　不定期自動車　　軽車両　　歩行者 |
| の方法 |  要 ・ 否 |  遮断時間　　発破前　　　分～発破後　　　分 |  |
|   |  |
|   要 ・ 否 |  ブラステングマット ブラステングシート　　 防爆マット たたみ ブラストフェンス　　飛石防止柵 むしろ　　かます　　こも俵 その他（ ）を使用する。 |
| 火薬類取扱所 |  位 　　　　　置 |  安全で湿気の少ない場所に設ける。　火工所までの距離　　　　　ｍ |
|  構 　　　　　造 |  見張人を配置しない構造（　　　　　　　　　　　　　）造り 見張人を配置する構造　（　　　　　　　　　　　　　）造り |
|  設　　　　　 備 |  境界柵　警戒柵　照明設備　（配線　　　　　　）を設ける。 |
|  管　　　　　 理 |  帳簿を備え責任者を定めて，火薬類の受払い状況をその都度記録する。 |
| 火工所 |  位 　　　　　置 |  安全で湿気の少ない場所に設ける。　切羽までの距離　　　　　ｍ |
|  構 　　　　　造 |  （　　　　　　　　　）造りとし，作業台を設ける。 |
|  設　　　　　 備 |  周囲柵　警戒柵　照明設備　（配線　　　　　　）を設ける。 |
|  管　　　　　 理 |  帳簿を備え責任者を定めて，火薬類の受払い状況をその都度記録する。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貯蔵場所 |    |  所在地 種類，棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟 有効期間（２級火薬庫のみ）　　　　　　 　年　　月　　日　まで |  |
|   | 所在地指示期間　　 　年　月　日　から　 　年　月　日 まで最大貯蔵量 |
|    |  所在地 種類，棟数　　　　　地上式　　　　　級火薬庫　　　　　棟 |
|  貴殿所有の火薬類を消費期間中，私所有の上記火薬庫に保管すること を承諾します。 　　年　　月　　日 住所 所有者 氏名  |
| 運搬の方法 |   車　　　　　 両  |  （販売店名） 自動車　　　二輪車　　　　委託運送（委託先　　　　　　　　） 取扱所　火工所　火薬庫まで　　　　ｋｍ　　所要時間　　　　分 |
|  |  |  |  |  |  |
| 消費場所の火薬類取扱従事者の氏名 |  区　　　　　 分 |  氏　　　　　　名 |  年令 |  資格 |  保安手帳・従事者手帳 |  |
|  保安責任者（正） |  |  |  種 |  第　　号 |
|  〃 （代） |  |  |  種 |  第　　号 |
|  〃 （副） |  |  |  種 |  第　　号 |
|  |  |  |  種 |  第　　号 |
|  庫外貯蔵所責任者 |  |  |  |  第　　号 |
|   |  |  |  |  第　　号 |
|   |  |  |  |  第　　号 |
|   |  |  |  |  第　　号 |
|   |  |  |  |  第　　号 |
|  〃 |  |  |  |  第　　号 |
|  〃 |  |  |  |  第　　号 |
|  〃 |  |  |  |  第　　号 |
|  〃 |  |  |  |  第　　号 |

 （注）危害予防の方法，取扱所，火工所の概要，運搬方法欄は不要事項を消すか，又は必要事項を　 ○で囲むこと。

 添付書類 　消費場所付近の見取図等